

平成22年 3月10日
国土交通省 富士砂防事務所

お知らせ

1. 件名

大沢川扇状地でヘリコプターによる鋼製牛柵の据付

2. 概要

「平成21年度富士山火山防災調査工事」において、大沢川扇状地内で鋼製牛柵の据え付けをヘリコプターにて行います。この工事は、緊急時の防災対応として土石流の流れの方向を制御する目的を持った「牛柵」をヘリコプターで試験的に据え付けるものです。

…鋼製牛柵とは…
鋼製牛柵「牛柵（うしわく）」とは、大河川の堤防護岸沿いの水勢を弱めることを目的として、丸太材を三角錐形に組んで現地に設置するもので、その形が双角を備えたような状態であることかから名付けられた伝統的河川工法の一種です。「鋼製牛柵」は、丸太材の代わりに鋼材を用いたもので、水勢の減勢だけでなく、土石流に対しても流下してくる転石をくい止める効果も期待されています。新しい技術製品です。

3. 日時

平成22年3月12日（金）10：00から
（準備 9：00から）

※当日の気象状況で12日に実施できない場合は、翌日13日（土）に実施の予定です。

4. 場所

富士宮市上井出地先 大沢扇状地内 第9床固工付近
（別紙参照）

5. その他

当日は現場作業の監督等を行っておりますので、現地でのご質問に受け答えできかねる場合があります。お問い合わせ等は事前又は事後に下記までお願い致します。

6. 問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 富士砂防事務所
富士宮砂防出張所長 大石英男 0544-54-0236

大沢川扇状地 案内図

